

一般会計決算額191億3988万円 単年度収支1億4656万円の赤字

もっと住みよい筑後市づくりへ施策をしっかりと検証



平成26年度
各会計の決算を認定

今定例会では、監査委員を除く議員全員による決算特別委員会を設置、委員長に弥吉治一郎議員を選出し、9月18日、24日、25日の3日間、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審査した。

その結果、各会計とも原案どおり認定した。
一般会計決算は、歳入総額199億5396万円、歳出総額191億3988万円、翌年度に繰り越すべき財源を差し引き、実質収支は7億1539万円の黒字となった。ただし単年度収支（※）では、1億4656万円の赤字となった。
主な質疑は次のとおり。

※単年度収支とは、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を引いたもの。

問 ふるさと応援寄付金は、どの程度のお礼をしているのか。定住促進も含め、自治体間で競争している状況の中、積極的にPRしないのか。

答 1万円以上の寄付に対し3000円程度の品物を送っている。法改正により、税控除の面で有利な制度となったので、どのような方法が良いのか研究したい。

問 職員研修について、参加者が少なくなったとあるが、現状はどうか。

答 近年の参加者は減少傾向にあるが、人事評価制度を導入した21年度から比較すると増加しており、年間の参加延人数は1000人以上となっている。人材育成を主眼に置いた取り組みを行っている。

問 職員採用試験は、従来の公務員試験を変更し、幅広く人材を求めているようだが。

答 一般的に、県内自治

整理したい。
問 選挙の際、投票所に使用される学校の体育館は、土足のまま上がる所とそうでない所がある。スリッパに履き替えることが困難な高齢者等が投票に行きたくても行けないという声がある。課題として検討してほしい。

答 現在、養生マットを敷いて土足のまま上がれるようにしている所、スリッパに履き替える所がある。それぞれの投票所の事情により任せている状況である。
問 川と水を守る運動に



川と水を守る運動

体の職員採用試験は、統一試験である。毎年同じような試験内容となるため、公務員専門学校等で対策が進み、そういった受験者が成績上位を占める傾向がある。26年度から公務員試験対策をしていない人も受験しやすい試験へ変更した。結果、申込者数は25年度に比べ1.52倍となった。参考までに今年の採用試験の申込者数は採用予定に対して、70倍となっている。



昨年のまちづくり懇談会

問 まちづくり懇談会のあり方は、工夫されているようには思えない。形

については、参加者が年々高齢化しており、実施が難しい状況になっているところがある。
答 今年は若年層、壮年層への参加のお願いのチ

◇平成26年度特別会計の決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	56億 221万円	56億 8,378万円
後期高齢者医療	6億 3,767万円	6億 388万円
介護保険	保険事業勘定	34億 3,458万円
	地域包括支援センター事業勘定	3,244万円
市営住宅敷金管理	2,681万円	165万円
住宅新築資金等貸付	277万円	5,463万円
下水道事業	10億 3,189万円	10億 2,999万円
地方独立行政法人筑後市立病院貸付	6億 7,400万円	6億 7,400万円

◇平成26年度企業会計の決算額

会計名	収入	支出
水道事業	収益的収支	5億 7,172万円
	資本的収支	1億 3,460万円